



ソレイユニュースレター 発行日:令和8年1月15日 発行部数:1000部 発行人:福原 信広 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内)



新年に寄せて



明けましておめでとうございます。

ソレイユさがみは、皆様に支えていただき、おかげさまで開館25周年を迎えることができました。

男女共同参画社会の実現を図るための活動拠点として、女性のエンパワーメントとともに多様性や男性の視点も大切であることから、ジェンダー視点で男性の生きづらさを考える講座や、お父さんと子どもが一緒に体験できる講座など、多くの事業を開催

してまいりたいと企画しております。

今年も、地域の皆様や学校、企業など様々な方々と連携・協働しながら、施策の推進に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

相模原市立男女共同参画推進センター
(ソレイユさがみ) 館長 加藤 由美子



「ジェンダーギャップすごろく」 「すごろく」やってみました！（アンケート集計結果）

«開催回数» 6回（さんかくサロン、神奈川経済専門学校（3回）、英会話サークル、企画事業委員会）

«参加人数» 累計91名

Q 「すごろく」をやってみて新たな気づきはありましたか？

- ・それぞれの国で違うということを学びました。（20代女性）
- ・昔と現代では価値観に違いがあるなど感じた。（20代女性）
- ・当たり前だと思っていた子どものころの経験にもジェンダーがあったと気づいた。（20代女性）
- ・年齢的なギャップがあると思った。（40代女性）
- ・自分にもジェンダーバイアスがあることに気づかされました。（70代女性）

「ジェンダーギャップすごろく」



Q 「すごろく」をやる前とやった後で自分の気持ちに変化はありましたか

- ・性別で決めつけないように意識するようになった。（20代女性）
- ・他の人の意見を聞いて自分のなかにも凝り固った考えがあることに気づけた。（30代男性）
- ・今までの人生を振り返る機会になった。（60代女性）
- ・いろいろな考えを幅広く考えるようになった。（70代女性）
- ・自分が変わらないと変わらないんだな～と感じた。（80代女性）

Q すごろくの全体的な感想は？

- ・自分の意見をはっきり言って気持ち良かった。（20代男性）
- ・他の国はどんなジェンダーギャップがあるか知ることができた。もっと話したかった。（20代女性）
- ・いろいろな質問があって意味が分かりました。ジェンダーギャップはまだ起きると思います。（20代女性）
- ・ジェンダーギャップが今はあまりないように思う。（50代女性）
- ・参加者の年代によって価値観が違うこと、捉え方が違うことを感じた。（50代女性）
- ・面白い取り組みだと思います。（女性60代）



共働きでも「おい、めし！」
交替制にしましょう。
話し合いましょう
家事分担のジェンダーギャップはあるか？

『ジェンダーギャップすごろく』の 出前講座 受付中



日常生活にある「ジェンダーギャップ」（男女間の格差）を、すごろくで遊びながら一緒に考えてみませんか。ご連絡ください。ソレイユさがみのスタッフが皆さんのもとへ伺います。 **TEL 042-775-1775**

タウンミーティング「まちかど市長室」 ～男女共同参画及び女性活躍の推進に向けて～

令和7年11月11日（火）本村 賢太郎市長と車座で
意見交換を行いました。

NPO法人サーラ 福原代表、小山副代表、林企画事業委員会
委員長、湯田情報委員会委員長、神奈川経済専門学校留学生、ソレイユさがみ加藤館長が出席し、男性の積極的な育児・家事参加や女性の社会参加に向けての取り組みなど「男女共同参
画及び女性活躍の推進」についてお話をさせていただきました。

市長からは様々な取り組みを展開していることに対してお礼のお言葉をいただきました。

（市長のFacebookをご覧ください）



「ジェンダーギャップすごく」の取材を受けました

ソレイユさがみの情報委員会が作成した「ジェンダーギャップすごく」が3社（朝日新聞、読売新聞、タウンニュース）から取材を受け、記事が掲載されました。

作成した経緯や、すごくを体験した方たちの反応などを聞かれ、無意識な男女の役割の固定観念に気づいてもらい、社会的背景にも意識を広げてもらう狙いで作成したことや誕生から老後まで24マスあり、実体験などをもとにアイデアを持ち寄り作成したことなどを説明しました。また、すごくを大学生から80代までの参加者に体験してもらったところ、年代や地域、環境の違いで様々な意見が出たことやギャップが生まれることを知り、共有することが大事であることをお話ししました。



ソレイユマルシェに出店 ハンドメイド作家 のご紹介

※ ソレイユマルシェは、ハンドメイド作家による手作り品の販売を月2回開催しています。マルシェに6回以上出店している作家がワークショップの講師となり、活躍しています。詳細はソレイユさがみまでお問合せください。TEL：042-775-1775

成瀬 多鶴子さん

（セルーナクラフト主宰 つまみ細工協会認定講師）

つまみ細工って何だろう？「七五三」「成人式」の髪飾りと言えばイメージしやすいと思います。伝統工芸でもある「つまみ細工」を身近に感じてもらいたい興味を持って頂けると嬉しいです。お子様の晴れの日のお手伝いができるよう心を込めて作っています。ワークショップではみんなが笑顔になる作品を企画いたします。是非ご参加ください。



西村 正隆さん（絵画教室主宰）

作って吹く楽器でクリスタルパンフルートと言います。試験管を両面テープで2本つなぎ、2本と2本の4本をつなぎ、更に4本と4本の計8本をつなぎ、セロテープで横に周囲を巻きしっかりと固定します。仕上げに飾りのマスキングテープを巻きスタンドに立てて完成です。ドヘドまでの1オクターブの音階を吹いて音出しを皆で練習した後、「喜びの歌」や「夏の思い出」などの曲を吹きます。



荒川 ユク子さん（書道指導者）

私は長く書道教室とソレイユのワークショップで指導しています。一般的に書道は「美文字」を書くためその練習をすることと思われがちですが、自分自身と向き合いながら落ち着いた充実感が味わえます。また実際に生かせるステキな創作もできて自分の心の表現となります。「文字は体を表す」と言われる所以です。どうぞ足を止めて自分のための挑戦をしてみてください。お待ちしています。



清水 小春さん（グラフィックデザイナー）

台紙に、写真や雑誌の切り抜き、時にはマスキングテープやシール、ステッカーなども使いながら、即興で自由にコラージュ（切り貼り）するワークショップを行っています。手本がないので、毎回どんな出来上がりになるか、最後までわからない楽しいワークです。お子様から大人の方まで、どなたでもお気軽にどうぞ♪



編集 新年あけましておめでとうございます。昨年は酷暑の夏の上に、様々な出来事があった激動の一年でした。今年は少しでも
後記 心穏やかな日々を過ごしたいものだと祈るばかりです。今号は先号に引き続いて「ジェンダーギャップすごく」のその後の活動の
広がりなど盛りだくさんです。みなさまのよき一年の始まりのきっかけとなることを願っております。
(永富・村上・石井)